

生物多様性 神戸プラン 2020 に定める数値指標の達成状況

	指標・目標	何を把握するための指標か	指標の調査方法、評価期間	平成26年度実績	平成27年度実績
1	今見られない神戸の生きものの種数 〔現状〕49種 〔目標〕これ以上増やさない 【2020年】	・希少種の生息・生育環境の状況 ・種の多様性	・神戸版レッドデータ2010フォローアップ調査、みんなでつくるKOBE生きものマップなど ・概ね5年ごと	神戸に産しないとされていた希少種5種を確認 ・ヨツバハギ ・ヌマガヤツリ 他	59種 ※参考文献数の増に伴い増加
2	市民参加型生物多様性モニタリングの生きもの確認種数 〔目標〕4,000種(累計) 【2015年】	・希少種・外来種・指標種等の生息・生育状況 ・種の多様性	・モニタリングの実績値(環境局調査) ・毎年	2921種(累計)	5765種(累計)
3	水生生物の確認種数 〔目標〕中長期的に見て種数を減少させない【2020年】	・海・河川の種の多様性 ・種数の中長期的な増減傾向など	・水生生物・藻場育成調査(環境局) ・毎年～4年ごと	都市河川10点 ・魚類18種(22年度14種) ・水生小動物90種(22年度99種) ・付着藻類109種(22年度113種)	西神河川10地点 ・魚類18種(23年度19種) ・水生小動物42種(23年度50種) ・付着藻類91種(23年度74種)
4	生物多様性に関する市民(20歳以上)の認知度 〔現状〕 言葉を知っている67.8% 意味も知っている33.0% 〔目標〕 言葉を知っている100% 意味も知っている60% 【2020年】	・市民の意識(生物多様性の浸透度)	・アンケート調査(市政アドバイザー、市民1万人アンケートの活用など) ・概ね2年に1回	・言葉を知っている63% ・意味も知っている29%	—
5	生物多様性保全方針などの方針を定めて取り組んでいる企業の数 〔現状〕3社 〔目標〕30社【2020年】	・事業者の意識、取組状況	・グリーンカンパニーネットワーク参加企業へのアンケート調査(環境局)など ・概ね2年に1回	30社	—
6	森林の間伐等保全・育成面積(市有林) 〔現状〕30～50ha/年(人工林の間伐) 〔目標〕150ha/年【2015年】※	・森林の管理状況	・建設局調査 ・毎年	※	※
7	永続性のある緑地の面積(市街化調整区域における「みどりの聖域」や「人と自然との共生ゾーン」等における主に地域制緑地と、市街化区域における公園緑地等と施設緑地の総和) 〔現状〕35,000ha 〔目標〕35,000ha以上【2025年】	・森林、田圃、市街地などを含めた市域の緑地の総和	・建設局調査 ・毎年	約35,000ha	約35,000ha
8	耕地利用率(延作付面積/耕地面積) 〔現状〕76.9% 〔目標〕78%【2015年】	・保管理田や休耕地などの耕作されていない農地の解消	・経済観光局調査 ・毎年	75.1%	(8月頃確定)
9	こうべ版GAPに取り組む農家の登録人数 〔現状〕282人 〔目標〕350人【2015年】	食の安全・安心の取り組み状況	・経済観光局調査 ・毎年	492人	506人
10	新たな栽培試験の魚種数 〔目標〕3種【2015年】	・つくり・育てる漁業の取り組み状況	・経済観光局調査 ・毎年	1種	1種
11	まち中における緑の面積の割合(市街化区域における緑で被われた面積の割合) 〔現状〕3割 〔目標〕3割以上【2025年】	・市街地の緑地の状況	・建設局調査 ・概ね5年ごと	—	—

※平成25年度の2015ビジョンの見直しにより、目標が数値ではなく、「補助事業による人工林整備の継続実施」、「二次林整備等での補助事業の導入、市有林での二次林整備の継続実施」に変更されました。

改定プランに定める数値指標

No.	指標・目標	何を把握するための指標か	指標の調査方法、評価期間	備考
1	今は見られない神戸の生きものの種数 〔現状〕 59 種 〔目標〕 これ以上増やさない【2020 年】 (今見られる種数を維持する)	・希少種の生息・生育環境の状況 ・種の多様性	・神戸版レッドデータのフォローアップ調査（環境局）など ・概ね 5 年ごと	森林、田園、河川、海岸
2	市民参加型生物多様性モニタリングの生きもの確認件数 〔目標〕 8,000 件（累計）【2020 年】	・希少種・外来種・指標種等の生息・生育状況 ・種の多様性	・モニタリングの実績値（環境局調査） ・毎年	森林、田園、河川、海岸、街
3	水生生物の確認種数 〔目標〕 中長期的に見て種数を減少させない【2020 年】	・海・河川の種の多様性 ・種数の中長期的な増減傾向など	・水生生物調査（環境局） ・毎年～4 年ごと	河川、海域
4	生物多様性に関する市民（20 歳以上）の認知度 〔現状〕 言葉を知っている 62.5% 意味も知っている 29.3% 〔目標〕 言葉を知っている 100% 意味も知っている 60% 【2020 年】	・市民の意識 (生物多様性の浸透度)	・アンケート調査（神戸市ネットモニター制度、神戸市民アンケート制度の活用など） ・概ね 2 年に 1 回	
5	持続性のある緑地の面積（市街化調整区域における「みどりの聖域」や「人と自然との共生ゾーン」等における主に地域制緑地と、市街化区域における公園緑地等と施設緑地の総和） 〔現状〕 35,000ha 〔目標〕 35,000ha 以上【2025 年】	・森林、田園、市街地などを含めた市域の緑地の総和	・建設局調査 ・毎年	森林、田園、街
6	新規就農者数 〔目標〕 5 年で 250 人 農村への移住・起業 〔目標〕 5 年で 100 件	・農村地域活性化のための新たな担い手者数の状況	・経済観光局調査 ・毎年	田園
7	こうべ版 GAP に取り組む農家の登録人数（延べ数） 〔現状〕 492 人【2015 年】 〔目標〕 600 人【2020 年】	・環境保全型農業の取り組み状況	・経済観光局調査 ・毎年	田園
8	ファーマーズマーケット開催件数 〔現状〕 9 回【2015 年】 〔目標〕 50 回【2020 年】	・地産地消の取り組み状況	・経済観光局調査 ・毎年	田園、街
9	まち中における緑の面積の割合（市街化区域における緑で被われた面積の割合） 〔現状〕 3 割 〔目標〕 3 割以上【2025 年】	・市街地の緑地の状況	・建設局調査 ・概ね 5 年ごと	街